

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 14 日作成)

委員会名	PC 規準指針小委員会	主 査 名：西山峰広
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリ - ト構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：浜原正行
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	現在刊行されている「PC 規準」「PRC 指針」などの規準および指針類のメンテナンスと、数年内に刊行予定の「新 PC 規準」における設計法および構成の検討を行う	
委員構成 (委員名(所属))	主査：西山峰広(京都大学) 幹事：加藤博人(建築研究所) 委員：阿波野昌幸(日建設計)・池永博威(千葉工業大学)・大迫一徳(ピーエス三菱)・大野義照(大阪大学)・岡本晴彦(竹中工務店)・小山内裕(オリエンタル建設)・佐藤啓治(大成建設)・妹尾正和(フドウ建研)・中塚 信(大阪大学)・浜原正行(日本大学)・深井 悟(日建設計)・松原正安(大成建設)・由利隆之(神鋼鋼線)	
設置 WG (WG 名：目的)	常時荷重設計法 WG ：「新 PC 規準」の常時荷重に対する設計法の構築 材料・施工 WG ：「新 PC 規準」の材料・施工編を担当する	
2003 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 4 月 9 日・12 名 5 月 30 日・11 名 8 月 20 日・14 名 11 月 26 日・12 名 2004 年 3 月 24 日・11 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>「新 PC 規準」発行に向けて作業を行っている。今年度は、構成案を検討し、その結果、常時荷重設計編作成のための「常時荷重設計法 WG」、材料・施工編作成作業を行う「材料・施工 WG」を発足させた。「新 PC 規準」は、材料・施工編、常時荷重設計編、耐震設計編、部材設計編の 4 編よりなる予定であり、耐震設計編は、「PC 耐震設計小委員会」で、部材設計編は、「PC 部材終局性能・設計法小委員会」でそれぞれ担当する。これらの作業の調整を行い、設計法として完成されるように方向付けを行っている。</p> <p>2004 年建築学会大会において、「新 PC 規準の性能規定化に向けて」と題する PD を企画し、その実施へ向けて作業を行っている。</p> <p>また、刊行済みの規準および指針のメンテナンスを行っている。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)
その他評価すべき事項	<p>「新 PC 規準」発行に向けては、常時荷重設計法 WG と材料・施工 WG を発足させ、作業を実施する体制作りを行った。また、その構成を検討し、概要を決定した。2004 年建築学会大会における PD の場で、設計法の概要を公開し、さらに議論していく予定である。</p>